

# 江戸東京野菜とは

江戸東京野菜とは種苗の大半が自家採種または近隣の種苗商により確保されている。

江戸から昭和中期(40年代)までの野菜、いわゆる固定種の野菜です。

それぞれに物語があり、味や形など個性豊かで魅力あふれる江戸東京野菜。

野菜として注目を集めており45種類がJA東京中央会により認定されています。

もくじ

大蔵ダイコン / 亀戸ダイコン / 高倉ダイコン

志村みの早生ダイコン / 汐入ダイコン

山千歳白菜 / 後関晩生小松菜 / 城南小松菜

三河島菜 / ノラボウ菜 / 奥多摩ワサビ

馬込三寸ニンジン / 滝野川大長ニンジン

寺島ナス / 雑司ヶ谷ナス / おいねのつる芋

※本ガイドに記載されている画像やイラスト等を無断で転載、転用、複製により利用することを固く禁じます。

P9. 馬込半白キュウリ / 高井戸半白キュウリ

P10. 東京大越ウリ / 亀子ウリ / 内藤カボチャ / 角張カボチャ

P11. 渡辺早生ゴボウ / 早稲田ミョウガ / 谷中シシトフ / 東京ウド / タケノコ

P12. 三河島エダマメ / 川口エンドウ

P13. 分布図

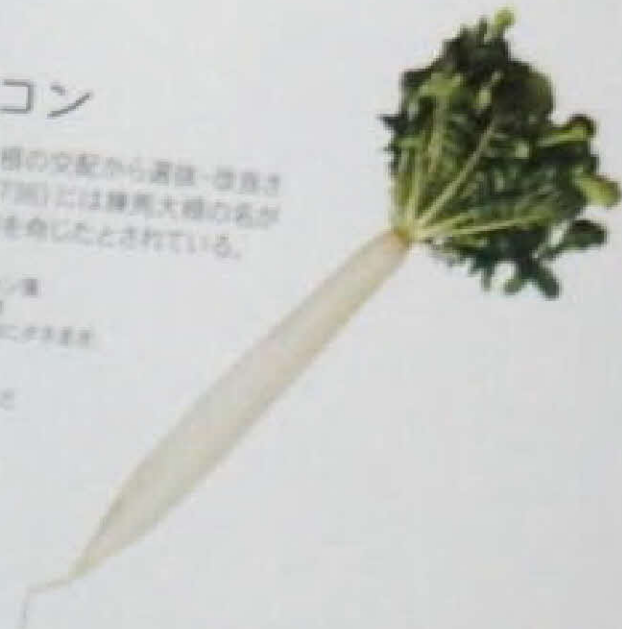
P14. 販売期間一覧

ねりまだいこん

## 練馬ダイコン

尾張大根と練馬地大根の交配から選抜・改良され、昭和年間(1716~1736)には練馬大根の名が定着。徳川幕府が栽培を命じたとされている。

産地：東京都練馬区  
栽培時期：10月~12月  
収穫時期：12月~1月  
大きさ：長さ約10cm、直径約2cm



でんどう大蔵だいこん

## 伝統大蔵ダイコン

江戸時代、徳川幕府の御用として栽培された大蔵ダイコン。明治時代には大蔵ダイコンと改名された。

産地：東京都大蔵地区  
栽培時期：10月~12月  
収穫時期：12月~1月  
大きさ：長さ約10cm、直径約2cm



かめいだいこん

## 亀戸ダイコン

江戸時代(1600~1868)から亀戸産のダイコンとして栽培された。明治時代には大蔵ダイコンと改名された。

産地：東京都亀戸地区  
栽培時期：10月~12月  
収穫時期：12月~1月  
大きさ：長さ約10cm、直径約2cm

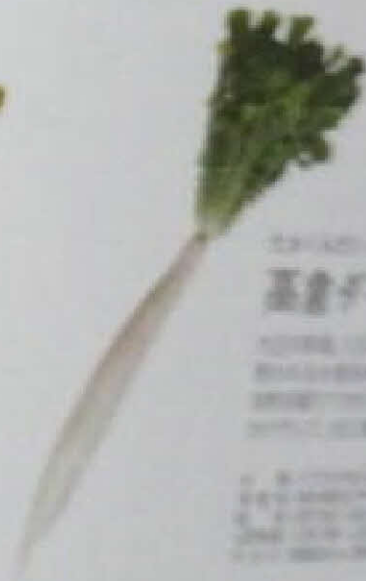


たかやだいこん

## 高倉ダイコン

江戸時代、高倉地区で栽培されたダイコン。明治時代には高倉ダイコンと改名された。

産地：東京都高倉地区  
栽培時期：10月~12月  
収穫時期：12月~1月  
大きさ：長さ約10cm、直径約2cm





## しんとり菜

(ちりめん白菜)  
昭和40年代に入り江戸川区、葛飾区、足立区で盛んに栽培され、当時国内で生産していなかったチンゲン菜に代わり中華料理食材として重宝されていた。

分類: アブラナ科アブラナ属  
原産地: 中国・長江流域  
別名: 若採りの唐菜、唐人菜、ちりめん白菜を「しんとり菜」と呼ぶ  
栽培: 夕ネまき後、夏場は35日、冬場は150日後に収穫  
出荷時期: 10月中旬～3月中旬(周年栽培もある)  
大きさ: 長さ20cm



## 青茎三河島菜

天正18年(1590)、江戸に入来した青茎三河島菜は、三河島と名付けその地で栽培されたことが確認されている。

分類: アブラナ科アブラナ属  
原産地: 中国・山東省・青島市  
栽培: 7月下旬に夕ネまきし、収穫は約120日～150日後  
出荷時期: 11月中旬～12月下旬  
大きさ: 長さ100cm



## 奥多摩ワサビ

多摩川の清流と冷涼な気候に育まれた奥多摩地区では文化文政時代にはすでに奥多摩ワサビが盛んに栽培されていた。

分類: アブラナ科ワサビ属  
原産地: 日本  
栽培: 定植は春(4月～5月)と秋(9月～10月)に行われるが、秋に収穫する  
出荷時期: 周年可、定植後1～1.5ヶ月  
大きさ: 8～10cmほど



## 砂村三寸ニンジン

此菜は「砂村・大島町あたりにおいて、明治時代を通じて種苗から種子を得て栽培したことが確認されている」と『江東区史』に記載されている。

分類: セリ科ニンジン属  
原産地: アフガニスタン  
栽培: 7月に夕ネまきし、収穫は約120日～150日後  
出荷時期: 11月中旬～12月下旬  
大きさ: 長さ100cm



## 浅野川大長ニンジン

浅野川ニンジンとは、江戸時代に豊島郡浅野川(現在の北区浅野川)付近で栽培された大長にも及ぶ長根種入参。



分類: セリ科ニンジン属  
原産地: アフガニスタン  
栽培: 7月に夕ネまきし、収穫は約120日～150日後  
出荷時期: 11月中旬～12月下旬  
大きさ: 長さ100cm

## 馬込三寸ニンジン

明治初期、元となる西洋種は豊島郡馬込(現在の東区馬込)で栽培されたことが確認されている。その後大田区馬込の馬込地区にも伝播し、現在では馬込地区の馬込地区で栽培されている。

分類: セリ科ニンジン属  
原産地: アフガニスタン  
栽培: 7月に夕ネまきし、収穫は約120日～150日後  
出荷時期: 11月中旬～12月下旬  
大きさ: 長さ100cm



## アシタバ

アシタバは西洋種と在来種との交雑種で、アシタバの葉は西洋種に似て、根は在来種に似ている。アシタバはアブラナ科アブラナ属の一年生植物で、根は食用になる。

分類: セリ科ニンジン属  
原産地: アフガニスタン  
栽培: 7月に夕ネまきし、収穫は約120日～150日後  
出荷時期: 11月中旬～12月下旬  
大きさ: 長さ100cm





# 江戸東京野菜

## 分布図と販売期間一覧

